

【会長挨拶】

先日、思い立って「オレの事務弱日記」なるものをつけ始めました。愚かな事務的失敗は一刻も早く忘れたいものですが、あえて記録することで自らに反省と奮起を促し、ワンランク上の人間になることを目指そうという試みです。「事務弱」インシデントに含めたのは、ホテル日程の予約ミス、振込代金の桁数の誤り、郵便物の宛名誤記、ハンコの押し忘れなど典型的な事務処理ミスだけではなく、電車乗り過ごし、電車での『ガリヴァー旅行記』紛失、タクシー鞆置き忘れ、自転車カゴに載せていたはずのクリーニング済みシャツ紛失など、解釈をやや広めにとっています。

私はこれまで「間違いはそこそこするが、それほどひどくはないような気がする」との自己認識でおりましたが、今回の試行の結果、自己認識は「間違いをそこそこする上、それほどひどくもない」と言い切れない」というものになりました。

そんな私でもかつては英文学会の事務局長をつとめておりました。これはひとえに職員、局員を含めての事務局のチェック体制が機能していたおかげかと思っています。それと、こんな私でも他人のミスを見つけることはありまして、そこからは「他人のミスの方が、自分のミスよりも気づくものだ」という鉄則が導き出せそうに思いました。もちろん、これが裏目に出ると自分の失敗は棚に上げて、人のアラ探しばかりするという荒涼とした事態に陥りますが、少なくとも英文学会事務局の方々は見事なチームワークでお互いを助け合い励まし合い、事務仕事に必然的に伴うミスを上手にカバーしてきました。現在も猪熊事務局長を中心に膨大な作業を円滑にこなしてくださっており、あらためて感謝申し上げます。

それにしても、人生、一寸先は闇。「ヒヤリ、ハッ」とだけでなく「あちゃー」にも満ちあふれ

ています。まさかクリーニング店で受け取ったばかりのシャツがいつの間にか自転車のカゴからどこかに飛んでいってしまうなどとは想像すらしませんでした。

さて、本年5月には東京大学本郷キャンパスで全国大会が行われます。登壇者の方々はもとより、大会準備委員会、事務局、開催支部、そしてもちろん開催校でも鋭意、準備を進めているところです。すでにお知らせした通り、大会の日程は当初の予定から一週間ほど延期され、5月31日(土)・6月1日(日)の両日に行われることになりました。こちらは事務処理ミスではなく、開催校の学園祭の日程が急遽、変更になったことが原因ですが、多くの方にご不便をおかけしたことは間違いなく、深くお詫びいたします。また日程変更の結果、アメリカ学会の全国大会と日程が重なってしまったことも遺憾に思います。何とか実り多き大会になるよう、みなさまのお力をいただければ幸いです。なお、やや珍しい企画として、懇親会で開催校教員のバーナビー・ラルフさんとパートナーの友友彩子さんがリコーダーとハーブシコードによるバロック音楽の演奏をしてくださる予定になっております。是非、お楽しみください。

開催校の建物は、歴史的な重みがあると言うと聞こえはいいのですが、あちこち老朽化が目立っている上、独特な構造をしていて各部屋への経路はときに複雑怪奇、30年前に全国大会が行われた際には「教室にたどりつかなかった」「迷路のようだ」といった厳しいご指摘もいただいたようです。今回も迷路状態は解消しておりませんので、こちらとしてもなるべく地図や立て看板による案内など気をつけたいとは思っておりますが、参加される方々におかれましては部屋への移動には十分な時間を見積もっていただければ幸いです。

最後になりましたが、今年は理事、評議員がともに改選される年となっております。新年度からの学会役員の陣容には大きな変化があります。

会長は継続となりますが、これまで理事、評議員として学会を支えてくださった先生方にはあらためて感謝を申し上げます。

【理事会報告】

◎新会長の選出について

本部理事候補が各支部より推薦され、理事候補内での投票の結果、現会長の阿部公彦氏(関東支部)が再選され、次期の法人代表・会長に内定いたしました。日本英文学会定款の定めるところに従い、阿部氏の会長再任は2025年5月に開催される評議員会での承認を経て正式決定いたします。任期は2027年5月の理事会・評議員会までの2年となります。

◎新役職者について

現本部理事・評議員・監事任期満了に伴い、次期本部理事候補10名、評議員候補7名、監事候補2名、が各支部において選出ないし推薦されました。ご協力ありがとうございました。各支部から推挙いただいた候補は、日本英文学会定款が定める承認手続きを経たうえで、新会長とともに2025年5月に開催される理事会・評議員会後に正式就任となります。なお、それぞれの役職者の任期は、定款の定めるところに従い、理事は2年(2027年度5月理事会まで)、評議員・監事は4年(2029年度5月理事会まで)となります。

次期本部理事候補(10名)

【北海道支部】	野村 益寛(北海道大学)
【東北支部】	大貫 隆史(東北大学)
【関東支部】	阿部 公彦(東京大学)
	佐藤 和哉(日本女子大学)
	武田 将明(東京大学)
【中部支部】	内田 勝(岐阜大学)
【関西支部】	横内 一雄(関西学院大学)
	荘中 孝之(京都女子大学)
【中国四国支部】	小野 章(広島大学)
【九州支部】	後藤 美映(福岡教育大学)

次期本部評議員候補(7名)

【北海道支部】	十枝内康隆(北海道教育大学)
【東北支部】	福士 航(東北学院大学)

【関東支部】	岩田 美喜(立教大学)
【中部支部】	田中 智之(名古屋大学)
【関西支部】	芦津かおり(神戸大学)
【中国四国支部】	大地 真介(広島大学)
【九州支部】	中村 嘉雄(九州大学)

次期本部監事候補(2名)

【関東支部】	佐藤 光重(慶應義塾大学)
【中国四国支部】	今林 修(広島大学)

◎臨時理事会について

2025年1月14日(火)から17日(金)にかけて臨時理事会(メール審議)が開催されました。主要な議題は以下の通りです。

- 2025年度全国大会開催日程変更について(11月メール審議、1月報告)
日本英文学会第97回全国大会開催日程について、開催校東京大学の学園祭日程変更を受け、一週間後ろにずらした5月31日(土)、6月1日(日)へと移動することを審議・承認した。
- 支部支援金計算式変更について
昨年度1月理事会で承認された方針に従い、今後の支部支援金計算方式が変更となる旨、および新しい計算方法が確認された。
- 事務局経理会計ソフトの変更について
会員の年会費管理や領収書の発行、図書館等への学会誌の請求書発行などの事務作業をより効率的に行うことができるよう、新たな会計ソフト(マネーフォワード)の導入を行うことが確認された。
- ハラスメント相談窓口業者の契約について
第1回ハラスメント相談委員会での決定を受け、会員からのハラスメント相談の最初の窓口となる業者(ハラスメント相談窓口)選定を行い、アデコ株式会社との契約を行うことが承認された。
- 2026年度第98回全国大会開催校について
2026年度大会は同志社大学今出川キャンパス(関西支部)で開催予定であることが確認された。

◎第97回全国大会の開催について

学会メーリングリストや『英文学研究』和文号第百一卷に同封のお手紙等でもお知らせしまし

た通り、開催校(東京大学本郷キャンパス)の学園祭日程変更に伴い、第97回全国大会の日程が変更となりました。新日程は2025年5月31日(土)、6月1日(日)となります。登壇者や研究発表者の皆様には急遽ご予約の調整をお願いすることとなり、大変申し訳ございませんでした。一部オンライン発表(聴衆は対面参加のみ)となる可能性もありますが、プログラム内容にはすべて変更なく、東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)での対面開催を予定しております。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第97回全国大会期間中には以下の通り託児施設が開設されます。

日時：2025年5月31日(土) (11:00-18:00)
6月1日(日) (9:00-17:00)

場所：事前申込者には当日お知らせいたします。
委託託児業者：コンビスマイル株式会社

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)の全国大会ページおよびメーリングリストにて後日ご案内いたします。託児ご希望の英文学会会員の皆様は案内にしたがってお申し込みをお願いいたします。

◎ハラスメント相談委員会について

2024年6月4日理事会にて最終承認された「日本英文学会ハラスメント防止ガイドライン」の定めるところに従い、各支部から委員のご推薦をいただき、10月に「ハラスメント相談委員会」が発足しました。委員は鈴木美津子(東北大学名誉教授)、舌津智之(立教大学)、本田安都子(福井大学)、新野緑(ノートルダム清心女子大学[神戸市外国語大学名誉教授])、松浦美佐子(岡山商科大学)、江頭理江(福岡教育大学)の6氏です(すべて敬称略)。本務校でのお仕事が多忙を極めるなか、重責をお引き受けいただいた先生方には、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

この委員会発足を受け、2024年11月3日(日)、日本英文学会事務局を会議本部とするZoomミーティングの形で第1回委員会が開催され、委員名の情報開示、相談窓口の外注、マニュアル策定の工程表などが審議・確認されました。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始めております。「終身会員規程」は学会ウェブサイト「入会案内」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局(ejimu2@elsj.org)にて受け付けております。

◎事務局開室時間について

本部事務局事務室の開室時間は、以下のようになっています。

月曜日、火曜日、金曜日 11:00-17:00

上記以外の曜日・時間帯(特に土日、祝日や夏季休暇・年末年始を含む冬季休暇)にいただいたお問い合わせへの返信には少しお時間をいただくこととなります。また、お問い合わせについては、なるべくメール(ejimu2@elsj.org)でのご連絡をお願いいたします。

◎海外研究者招聘後援事業

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局宛にお送りください。なお、同事業の応募規程、採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ウェブサイトの「リンク(他学会、助成金、各種募集)」欄より閲覧できます。

◎会員著書案内

日本英文学会では、本部事務局宛に会員から著書を献本いただいた場合、学会ウェブサイトにて著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっています。掲載対象となる著書は、英語圏文学・英語学・英語教育に関する会員独自の研究成果に限り、訳書や上

記分野以外の著作等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、学会ウェブサイトの「会員著書案内」に記載のテンプレートに沿って、次の情報をワードファイルにて本部事務局(ejimu2@elsj.org)までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

著書が出版された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。会員の皆様におかれましては、学会ウェブサイト「会員著書案内」欄をぜひご覧ください。

【2025年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2025年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて下記の通り開催します。今年度は立正大学で実施します。キャンパス内会場についての詳細は、追って日本シェイクスピア協会ウェブサイト(<https://www.s-sj.org/>)にてご連絡いたします。

日時：2025年4月26日(土) 13:00～16:40
場所：立正大学(詳細は日本シェイクスピア協会ウェブサイトにて案内)

プログラム：

13:00 開会の辞 佐藤達郎・日本シェイクスピア協会会長(日本女子大学教授)

13:10～14:40 講演
井出新氏(慶應義塾大学教授・日本シェイクスピア協会元会長)
演題「「成り上がり者の鳥」と「マーリン一族」——シェイクスピアとライバル詩人たちの1590年代」

14:40～15:00 休憩

15:00～16:30 トーク
森一氏(俳優／演出／翻訳・劇団俳優座)
テーマ 「俳優座のシェイクスピア」
聞き手 近藤弘幸氏(東京学芸大学教授)

16:30 閉会の辞 阿部公彦・日本英文学会会長(東京大学教授)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎第97回全国大会について

第97回大会は2025年5月31日(土)、6月1日(日)に東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)にて、対面形式で開催されます。メーリングリスト、学会ウェブサイトほかにてご案内しました通り、開催校の学園祭の日程変更に伴い、日程が5月31日(土)、6月1日(日)へと変更となっております。発表は一部がオンラインとなる可能性があります、聴衆はすべて対面での参加となりますのでご注意ください。

◎研究発表応募について

第97回大会の研究発表に応募された方々は、英文学27名、米文学16名、英語学7名、英語教育4名の総勢54名でした。前年度の44名(英文学28名、米文学7名、英語学6名、英語教育3名)を上回る多くの方よりご応募をいただきました。たくさんのご応募、ありがとうございます。

応募数の増加に伴い、例年より研究発表の教室を増やしております。開催校・支部の先生方には格別のご理解とご協力を賜りますこと、心より御礼申し上げます。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・選考を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更は原則としてご遠慮いただいております。また、タイトルは発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表演語：～語)」を付記していただきたく存じます。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

◎ハンドアウトについて

シンポジウムや研究発表の発表者の皆様のハンドアウトは、会場でハンドアウトが不足した場合に備え、学会のGoogle Drive上にアップロードすることも可能です(QRコードは会場にて

掲示いたします)。発表者・登壇者の方でご協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで大会1週間前を目処にお送りください。充実した大会にするために、大会発表者の皆様のご協力をよろしく願いたします。

また、前回同様、大会終了後には『大会Proceedings』をまとめ、学会ウェブサイト上に公開する予定です。こちらにつきましても、発表者・登壇者の皆様のご寄稿を賜れましたら幸いに存じます。

◎紀要等展示室について

第97回大会においては「紀要等展示室」を一般会員控室に併設いたします。目的は、会員の皆様が紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を提供することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍等です。会員の皆様のご積極的なご参加を歓迎いたします。

展示をご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自身の責任において願いたします。開催校への展示物の送付は、保管等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。また展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、一切の責任を負いかねます(抜き刷りなど「持ち帰り可」とされる場合、展示にあたってそのように明記していただけますと幸いです)。大会終了後も忘れ物として保管はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

◎懇親会の開催について

懇親会につきましては東京大学本郷キャンパス内中央食堂にて開催予定です。懇親会に関する情報は3月中旬に日本英文学会ウェブサイトに掲載されますので、そちらをご確認ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。

ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1) 発表時間は1時間(質疑応答を含む)
- (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3) 謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
- (4) 司会は原則として紹介者が行う

〈応募の必要書類〉

- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
- (2) 発表題目および発表要旨(300 words程度)(ともに書式指定はなし)

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差し上げます。なお、採択された場合には、発表題目と発表要旨は応募時のままの形で『大会資料』(毎年3月配布予定)に掲載されます。

◎第98回大会(2026)ワークショップの応募開始

2026年に開催する第98回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は原則として大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会を選考いたします。

第98回大会分の応募締め切りは、2025年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ウェブサイトに掲載されている投稿規程をよくお読みのうえ、同ウェブサイトよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

会員の皆様から新鮮な企画をご提案いただくことで、全国大会をより身近で興味深いものにできれば幸いです。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』の刊行形態は、和文号(12月)、英文号(3月)の年各1冊となっており、これに応じてそれぞれ投稿締切が設定されています。昨年9月の英文号の締切までには22本の投稿論文が寄せられ、うち6本が採用されました。本年4月1日締切の和文号にも多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。本年3月発行予定の『英文学研究』英文号第66巻については、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎各種規程の変更について

2023年10月に論文投稿規程および新人賞規程が改訂され、2024年度の投稿から反映されております。論文を投稿・応募される方は、和文号第100巻以降の『英文学研究』雑記内および学会ウェブサイト上に掲載されている最新の投稿・応募規程に沿って論文をご作成いただきますようお願い申し上げます。主な変更点は下記の4点です。

- ① 共著論文は、共著者全員が会員であれば投稿可能である旨を明示しました。投稿・応募は会員一人につき論文1本とし、共著論文も論文1本と見なします。執筆者用抜刷は論文1本につき20部とします。
- ② 論文の投稿・応募者は、学会ウェブサイトより所定のGoogleフォームにアクセスし、必要事項をご記入の上で各投稿締切までにご送信くださいますようお願いいたします。なお、これに伴いカバーレターの提出は廃止されています。(※)
- ③ 註はワープロソフトの註作成機能を使わずに本文と同じ書式で作成し、原稿の末尾にまとめて付ける旨を明示しました(日本語論文投稿規程(4)[3]および新人賞規程(5)[3])。
- ④ 書式の細部については*The MLA Hand-*

*book*などの標準的なスタイルマニュアルの最新版に従う旨をより明確にしました(英語論文投稿規程(4)[2]および英語版新人賞規程5[2])。

※お詫び

2024年9月発行のニューズレターにおいて、②に関して規程改訂前の「カバーレターに記載すべき項目」という文言が残っていましたが、上記の通り一昨年10月の改訂に伴いカバーレターは廃止されています。混乱を招く記載についてお詫びいたします。

◎第48回新人賞論文募集

第48回新人賞論文を募集しています(締切は4月30日)。新人賞論文には賞金10万円、佳作論文には賞金5万円が授与されます。応募対象者は、締切日時点で満37歳未満または修士号取得後5年以内の会員です(共著論文の場合、共著者全員が上記のいずれかに該当することが条件です)。該当する若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。堅実かつ野心的な論考を期待しております。ご応募の際は、『英文学研究』和文号第101巻または学会ウェブサイト掲載の、改訂後の応募規程を必ずご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって市川誠、大串尚代、岡本太助、後藤美映、佐藤元樹、霜鳥慶邦、武田将明、前川貴史、山口和彦の各氏が任期満了により、また、冬木ひろみ氏が一身上のご都合により、ご退任となります。これまでのご尽力に感謝いたします。

後任には、池末陽子(龍谷大学)、岩田美喜(立教大学)、菅野悟(東京理科大学)、笹川浩(中央大学)、佐藤桐子(大東文化大学)、田中英理(大阪大学)、田尻芳樹(東京大学)、高村峰生(関西学院大学)、福本宰之(龍谷大学)、山本秀行(神戸大学)の10氏が選ばれました。任期は4月1日から3年(冬木氏の後任となる岩田氏は1年)です。どうぞよろしくお願いたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送、会費の領収書発行について

日本英文学会の2025年度会費は例年通り、一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員に同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。ご利用をご希望の方は、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡ください。なお、会費の振込手数料は、会員の皆様にご負担いただいております。どうかご了承ください。

なお、会費の領収書作成・発送業務の省力化のため、以下にご協力をお願いいたします。

1. 本年より、領収書は原則としてPDFでお送りいたします。PDFによる領収書が認められるケースが増えていること、および郵送経費削減、という2つの理由によります。
2. ただし、紙媒体での領収書発行をご希望の方で全国大会にご参加予定の皆様は、全国大会当日に受付にお寄りいただければ、領収書をお渡しいたします。また、全国大会にご参加でない方で紙媒体の領収書をご希望の方は、随時事務局(ejimu2@elsj.org)までメールにてご連絡をお願いいたします。

◎全国大会の受付業務

全国大会の当日の受付業務は以下の時間と内容となります。なお、受付にて会費を納入いただくことはできませんので、ご注意ください。

※受付時間：5月31日(土) 12:00～16:00
6月1日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方でも当日会員費1,000円をお支払いいただければ『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書をご提出いただくと、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) ゆうちょ銀行自動払込み領収書の発行

ゆうちょ銀行自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール(ejimu2@elsj.org)もしくは電話で、事務局までご連絡ください。すでにご希望をいただいている会員の方は、郵送経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ウェブサイト「入会案内」欄にて詳しくお知らせしておりますので、そちらをご参照ください。以下、注意点を記しておきます。

《入会手続きについて》

入会手続きにつきましては、お申し込み内容に応じて、事務局より郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただ

いた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局宛にご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会手続きについて》

会員が退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うことになります。つまり、退会届を提出しなければ、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には速やかに、学会ウェブサイト上の「お問い合わせ」欄やメールで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1)毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2)ゆうちょ銀行自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2025年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに2025年度有効の学生証の写しをご提出いただく必要があります。学会ウェブサイト「入会案内」の下にあります「学生のみなさまへ」(<https://elsj.org/membership/students.html>)の「学生証提出フォーム」よりご提出ください。なお、このフォーム送信のためにはGoogleアカウントを取得し、そのアカウントにログインした状態で行うことが必要です。データのアップロードが上手くいかない場合に

は、PDFファイルにて本部事務局(ejimu2@elsj.org)宛にお送りください。

こちらの学生証を事務局にて確認のうえ、2025年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(ゆうちょ銀行口座残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などは、事務局(ejimu2@elsj.org)までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局(ejimu2@elsj.org)まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏季休暇中の事務連絡について

本部事務局は、7月26日より8月31日まで夏季休暇のため基本的に閉室とさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、回答までに日数がかかることもありますが、お急ぎの方はメールで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2025年9月中旬刊行予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ウェブサイトやメーリングリストにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2025年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了の6月1日までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月2日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長 秦 邦生
(東京大学)異動

事務局長補佐	田代 尚路 (大妻女子大学)
会計補佐	広本 優佳 (東京科学大学)留任
オンライン補佐	瀧川 宏樹 (大阪工業大学)留任
編集担当書記	加太 康孝 (都留文科大学)留任
大会準備書記	友田 奈津子 (関西外国語大学)

新事務局は阿部公彦会長のもと、英文学会が
会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表す
ることのできる場であり続けるため努めてまい
ります。今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻を
よろしくお願い申し上げます。なお、現事務局
にこれまで賜りました多大なるご支援に、この
場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局
猪熊恵子・秦邦生・広本優佳・
瀧川宏樹・加太康孝・中嶋英樹